

「会報2018年の活動記録」

平成30年10月29日 堂々川ホタル同好会情報紙30年度8号(創刊 166号)

- 10月27日広島県文化財協会殿から表彰状をいただきました。
- ふるさと納税型クラウドファンディングの支援を受け「神辺の砂留」冊子を発刊します。
11月末が締め切りですがご寄付いただいている金額が予定されている25%です。皆様ご協力をお願いします。福山市内在住者の方でも応募でき所得控除の特典があります。冊子はカラーA4、80頁ですすでに印刷メーカーへ発注しました。500部限定 歴史書の価値もあります。
- 10月21日定例会を開催しました。2番、5番の川原、斜面整備と枯れ松切、オオキンケイギクを退治しました。地域の祭りと同日で参加者が少ないから実績は計画より少ないです。
- 彼岸花の新色が咲きだしましたが10月24日10本以上盗まれました。26日にも。福山市公園緑地課殿とも打合せ、今後警察へ通報することにしました。新色で19、20色目です。
- 竹尋俳句会のメンバーの皆様が堂々川へ来訪、吟行の成果の詳細は裏側に記載しています。
- 第3回全国砂留シンポジウムが長野県松本で開催され参加しました。さすが重文の砂防です
- 写真で見る活動風景



広島県文化財協会から表彰状



クラウドファンディング 挑戦中



定例会 気になる枯れ松伐採



牛伏せ階段工 100周年記念



10月24日の花穂 泥棒メ!



蕾の彼岸花証明者 歩こう会



水質検査 ホタルの幼虫 発見



伐採した木の処理



御領山 今年初の雲海 現る

8. 次回の定例会は

○日時：H30年11月25日(日) 8:30～ ごみ拾い オオキンケイギク他除去

* 会員以外の方でもホタル。砂留保護の草刈り・ゴミ拾い他軽作業をします。

ご参加の方は保険に入りますのでお名前を11月17日までに事務局へ知らせてください!

堂々川ホタル同好会 発行責任者 事務局 土肥 携帯 090-2865-3486

11月1日は神辺ライオンズクラブ殿と6番砂留付近を整備します。(9時)

竹尋俳句会10名の皆様が「堂々川の砂留」を見て各位それぞれ2句を吟じられました。最近、俳句ブーム、この演出に堂々川のホタルは喜んで相互PR提携をすることで会報の裏面を提供しました。

『堂々川ホタル同好会の皆様の並々ならぬご努力により、手入れが行き届いた美しくも重厚な、次々と広がる砂留に、ただただ感動！初めてこの光景を目のあたりにしたものは無論のこと、幾度となく訪れていたものも、歴史の重みと築き上げた我々祖先のすばらしさに、さらなる感動を覚えました』といわれて会員の皆様の日ごろを労って頂いたことも、今回の企画成立の陰に存在しています。

竹尋俳句会のご指導は俳句結社「雉」同人 天野 桃花先生（広島から来訪）だそうです。

以下鑑賞してください。

せせらぎの 静かな音や あきあかね
砂留の 岩より岩へ 枯ばつた 講師 天野 桃花

水難の ダムの流れや 草の花
小鳥来る 海に沿ひゆく 散歩道 節子

砂留の 細き流れや 薄紅葉
水底に 日当るながれ 秋澄めり 博子

砂留の 水落つ音や 秋の草
丸太橋 渡るを招く 曼殊沙華 深雪

行く雲や 川砂ひかる 秋日和
空晴れて 風の力の 猫じやらし 史恵

石だたみ 抜ける沢水 芒野へ
こもれ日に 弁当開く 秋の暮れ 公子

砂留を 低く飛び交う 秋の蝶
藤の実の 下に憩ふや 風やさし 愛子

砂留を 落つる水音 秋澄みぬ
秋茜 円を描きて 川の風 朱美

一陣の 風に波うつ 秋桜
ぬける青 残し台風 往きにけり 清香

大砂留 超えて群れ飛ぶ 秋茜
はぜ釣りや 外道に子らの 大騒ぎ 正文

詳細は堂々川ホタルとは異なる団体ですので、下記の方へ直接お問い合わせください

吉岡 正文様 電話 084-966-0385
住所 福山市神辺町下竹田2699